

第2回美里町立小学校建設検討委員会次第

日 時：令和8年6月18日（木）

午後1時30分～

会 場：美里町役場 2階201会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 新統合小学校のステートメントについて

(2) 統合小学校構造の変更について

(3) 各教室等の配置について

(4) 中庭、多目的交流の場、図書室、メディアルーム、大階段の活用について

(5) 今後のスケジュールについて

(6) その他

4 連絡事項

5 閉 会

配布資料

- 資料1 新統合小学校のステートメント（案）
- 資料2 統合小学校構造の変更
- 資料3 教室・体育館配置図（案）
- 資料4 小学校統合基本計画からの意見まとめ
- 資料5 他自治体の参考例
- 資料6 今後のスケジュール



資料 1 新統合小学校のステートメント(案)



● 1.ステートメント (Statement) とは何か



・ステートメント (Statement) とは、組織やプロジェクトが「何を目指し」「どのような価値観を大切にし」「どのような未来を創造したいか」を表明した「指針となる言葉」です。

● 2.ステートメントに込めた思い



・本ステートメントは、小学校統合基本計画の理念を基盤とし、これまでのワークショップでいただいた地域の皆様の思いをまとめました。
・小学校の整備事業においては、単なる施設建設にとどまらず、教育理念や学校のあり方、地域との関係性を共有するための「心の拠り所」となりま
す。この言葉を軸に、学校関係者、保護者、地域住民が共通の認識を持っ
て、新しい学び舎づくりを進めていくための重要な羅針盤です。

● 3. 新しい学び舎のステートメント (事務局案)

～そだてる、まざりあう、つながる 未来をひらく学び舎へ～

ここは、一人ひとりを大切にしながら、みんなで育ちあう場所です。

児童と生徒が出会い、学びあい、教えあい、家庭や地域の人ともつながりながら、新しい学
びをつくっていきます。

学校での学びを町のこととして、町での体験を学校の学びとして受けとめ、学びが学校の中
だけで終わらず、町へ、未来へと広がっていく。

そんな学び舎を、私たちはつくっていきます。

● 4.ステートメントに込めた3つの願い



①そだてる

・一人ひとりの個性を大切にしながら、互いに認めあい、成長しあえる環境を創り出し
ます。

②まざりあう



・学校内での交流に加え、校種を超えた子どもたちや地域の人々と自然に関わること
で、多様な価値観に触れ、学びを深めます。



③つながる

・学校と町が繋がり、教育活動が学校にとどまらず、町全体の活気や未来へと繋がって
いくような「地域に開かれた学び舎」を目指します。



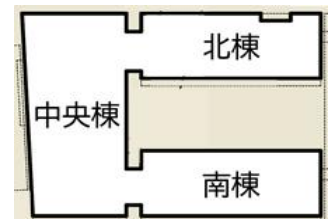
資料2 統合小学校構造の変更について

1.新統合小学校校舎の構造計画（小学校統合基本計画書より）

新統合小学校は、地元産材を利用した木造とします。

2.中央棟の構造変更

校舎中央棟の構造を木造から鉄骨造へ変更したい。
ただし、児童の教室を配置する北棟、南棟は木造とする。



3.変更の理由

①空調室外機

空調室外機の設置位置を検討するにあたり、地上に設置する場合、校舎北側と中庭に設けることとなる。中庭への設置は美観や利用するスペースが狭くなるだけでなく、室外機の騒音が発生する。騒音については、配慮が必要な特別支援教室の位置と近いので、空調室外機は屋上への設置が望ましい。



②太陽光パネル

新統合小学校は、省エネルギーに配慮しつつ、エコスクール認定を取得するため、ZEB化を目指している。ZEBでは創エネルギー設備を整備するため、屋上への太陽光パネル設置を検討している。太陽光パネルについても、屋上への設置が望ましい。



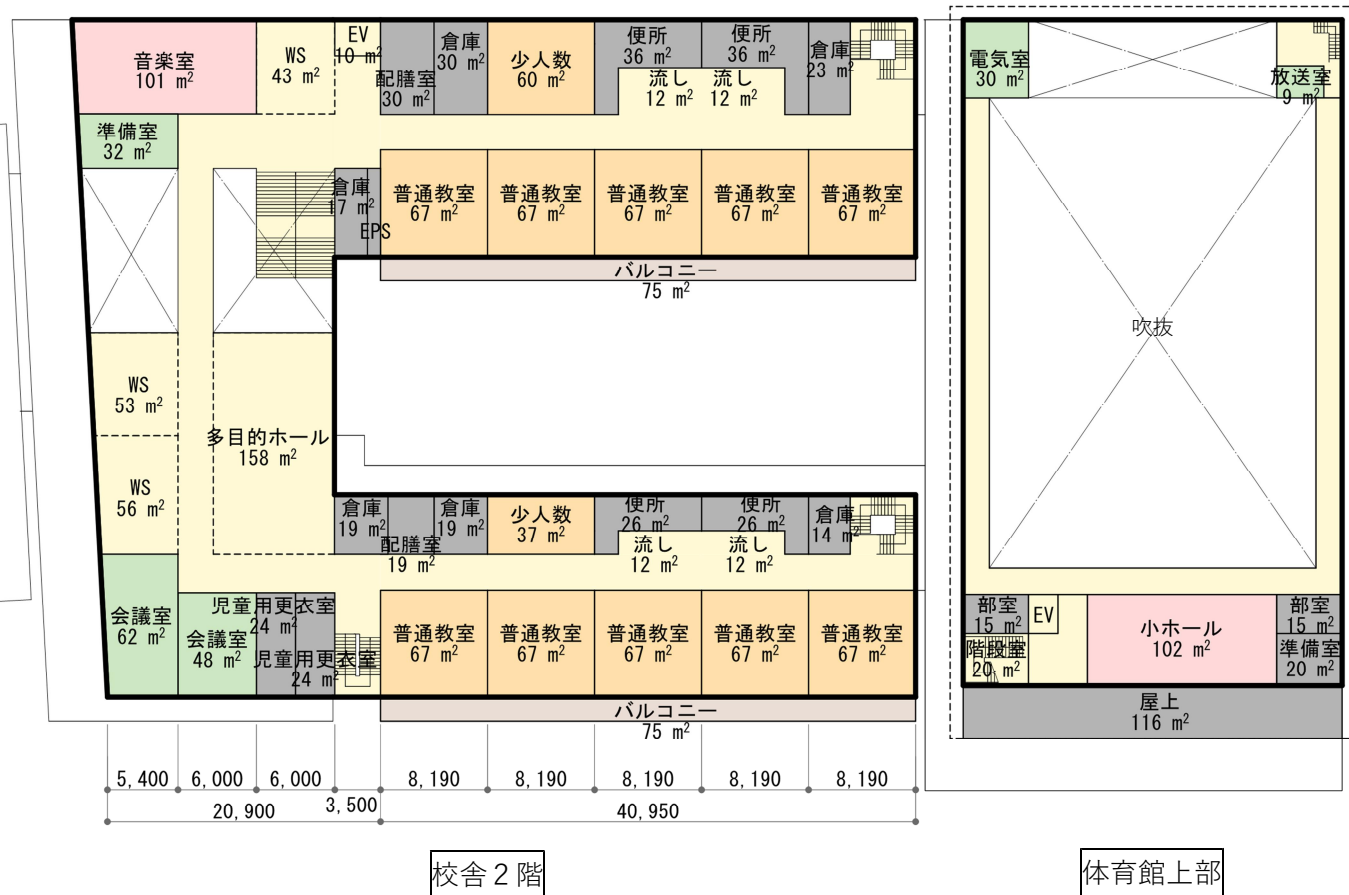
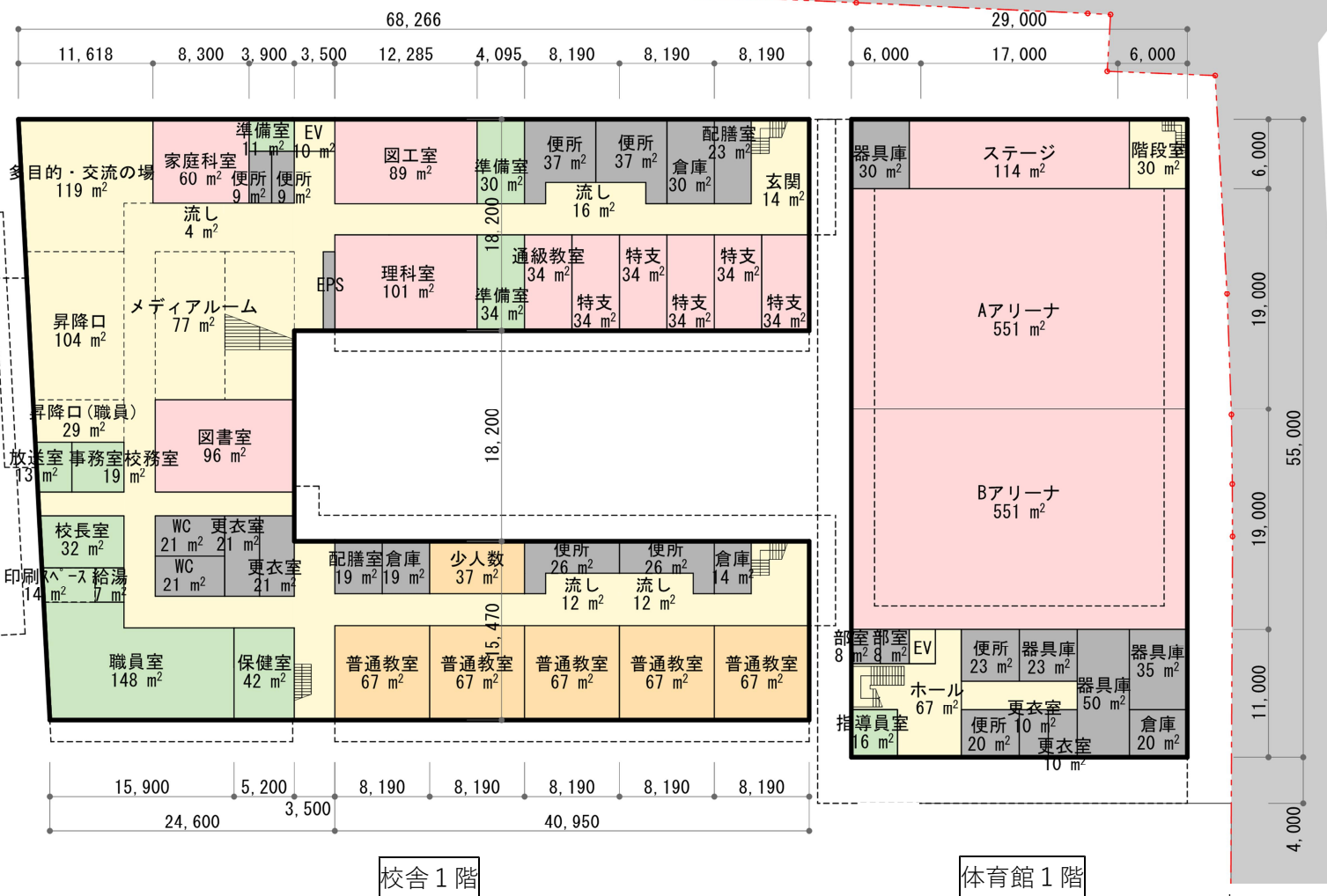
屋上への高重量設備設置を考慮すると、木造ではなく鉄骨造（s造）が望ましい。
ただし、内装材を木質化とすることで児童に対して環境面の配慮を行う。

【ZEBとは】

ZEBとは「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略称。「建物で使うエネルギーを、できるだけ減らし（省エネ）、必要なエネルギーを自前でつくる（創エネ）ことで、使うエネルギーを実質ゼロにすることを目指す建物」



資料3 教室・体育館配置図（案）



資料4 小学校統合基本計画からの意見まとめ

1.中庭に関する意見

意見内容	出典
校舎に囲まれた中庭や畑を設置したい。	ワークショップ
中庭を建物で囲み、開放感を生む空間にしたい。	ワークショップ
中庭から体育館、音楽室、食堂が見えるようにしたい。	ワークショップ
コの字型校舎にして中庭を設置し、畑として活用したい。	ワークショップ
中庭で交流したい。	ワークショップ

2.図書室に関する意見

意見内容	出典
図書室をカフェのような空間にし、気軽に本を読める場にしたい。	ワークショップ
図書室を学習スペースや交流スペースとして活用したい。	ワークショップ
町民がオススメの本を共有できる仕組みをつくりたい。	ワークショップ
図書室を玄関近くに配置し、ふれあいの場として活用したい。	ワークショップ
子どもたちが気軽に本を読んだり、集まったりできる図書室にしたい。	ワークショップ
図書室やランチルームを地域住民に開放したい。	ワークショップ
中学校図書室を廃止し、新統合小学校内の図書館で一元化したい。	建設検討委員会
図書室を中心に配置し、自然に集まりやすい場にしたい。	建設検討委員会
自習スペースを設け、高校生が帰りに寄って勉強できる場にしたい。	建設検討委員会

3.多目的・交流の場（ランチルーム）に関する意見

意見内容	出典
音楽室の音楽を聞きながら食事ができるランチルームを設置したい。	ワークショップ
ランチルームを地域開放し、放課後はカフェとして運営したい。	ワークショップ
学年や小中間で交流できるランチルームにしたい。	ワークショップ
ランチルームを児童・生徒、町民が利用できる交流の場にしたい。	ワークショップ
地域の人が作ったものをランチルームで食べることができるようにしたい。	ワークショップ

資料5 他自治体の参考例

嘉麻市・稲築東義務教育学校

事例1 メディアコモンズが核となる義務教育学校

事例のポイント ～本を中心にした活動拠点「メディアコモンズ」を学校中央に配置～

- ・ 中心に「メディアコモンズ」を据えることで、多様な学びや異学年交流を生み出す空間構成を実現。
- ・ 中央にはテーブルと椅子が配置され、1人の読書から数人の協働学習に利用できる。
- ・ 本棚を利用してさまざまな居場所がつくられている。
- ・ 子どもたちの居場所を確保しながら、死角を作らない工夫で安全性を確保している。
- ・ 発表ステージは、学習成果発表や合唱練習などにも使われ、吹き抜けを囲む上階は異学年の子どもたちが見守る観客席となる。



メディアコモンズ



読書から数人の協働学習が可能



本棚を利用してさまざまな居場所がつくられている



子どもの居場所を確保、死角を作らない工夫



学習成果発表や合唱練習などにも使用、上階は観客席



メディアコモンズを囲むように配置された特別教室

※メディアコモンズとは、図書・ICT・学習交流機能を一体化した学校内の共有学習空間

資料5 他自治体の参考例

京都市・栄桜小中学校

事例2 小中一貫校に実現した幅広いコミュニケーションの場

事例のポイント

- ・木材を活用した温かみのある校舎の中心には、メディアセンターとランチルーム、中庭が一体的に配置されている。
- ・食事だけでなく学習発表や集会など多目的に活用できるこの空間は、子どもたちが異学年や地域の人々と自然にコミュニケーションを図れる場となっている。



メディアセンター・ランチルーム



カウンター周り、回転イス、スツール



メディアセンター、書架、イス、カウンターテーブル



空間を柔軟に活用できる移動式展示架



メディアセンター、イス、カウンターテーブル



メディアセンター・ランチルーム

資料5 他自治体の参考例

守口市・さくら小学校

事例3 学校全体を木に包まれた学びの場に

事例のポイント ～多様な学習活動を展開できる環境づくり～

- ・昇降口から入った正面に計画されているメディアライブラリーが学校の中心である。
- ・メディアライブラリーでは、子どもたちの自主的・自発的な学習や協働的な学習が展開されており、すぐ隣の階段状につくられたメディアホールは、調べたことの発表や、学年間だけではなく、異学年の成果発表の舞台としても活用されている。
- ・教室周囲には少人数学習や学年間の交流に柔軟に活用できる「アクティブスペース」を設けている。
- ・子どもたちの興味関心を誘発し、自由に学びを深めることができるよう、1階の特別教室の周りや職員室前には「ラボ」と名付けた場が整備されている。
- ・学年単位での少人数学習や学年交流などの協働作業を進めることができるように、ベンチや組み合わせ家具を各所に設けている。



メディアライブラリーで読書を楽しむ子どもたち



学校の中心として機能するメディアホール



アクティブスペース



アクティブスペース



理科ラボ



先生ラボ

資料5 他自治体の参考例

八戸市・西白山台小学校

事例4 自然とまちに調和する地域木材の温もりに溢れた学び舎

事例のポイント

- ・遠景の山や緑豊かな自然のほか、住宅街等の周辺環境に寄り添い計画された校舎。
- ・構造材、内装材、家具等に地域木材を活用し、校舎だけでなく地域への愛着を育む小学校。
- ・教室と連続する、廊下を兼ねた多目的スペースが児童の居場所となっている。
- ・メディアセンターには図書室、視聴覚室、パソコン室としての機能を集約している。
- ・校舎の端に設置されることの多かった図書室を学校を中心に配置することで、利用率の向上を図るとともに、メディアセンターを中心として特別教室を配置することにより、図書等を活用した「調べ学習」を授業に取り入れやすくしている。



中庭



多目的スペースに造り付けられた棚や家具



木に囲まれた児童の居場所



木に囲まれた児童の居場所



施設の核となるメディアセンター



様々な用途に使用できる多目的ホール

資料5 他自治体の参考例

南牧村・なんもく学園

事例5 造り付けの家具を活用し自由な学びと遊びの場を実現する校舎

事例のポイント ～ワンルームを思わせる校舎に多様な空間を作り出す家具～

- ・校舎の中央（ホームベース・メディアホール）に配置された造り付けの家具が様々な空間を作り出し、子供たちの学びと遊びのための居場所となっている。
- ・小規模校の特徴を生かした、ワンルームを思わせる平面計画が特徴的であり、どこにいても子どもたちと教員が互いの温かみを感じながら生活することのできる空間となっている。
- ・木材を用いて作られた内装・家具は、校舎を使用する子供と教員が木の温かみを感じることができるものとなっている。



校舎の中央



本棚や製作物を展示する場



壁に囲まれ、落ち着いて読書ができるスペース



家具で空間を区切る共創スペース



造り付け家具は室内遊具としての機能も持つ



ボルダリングスペース

資料5 他自治体の参考例

湯沢町・湯沢学園

事例6 空間の利活用と工夫で、地域に支えられた図書空間を創出

事例のポイント

- ・学校図書館を拠点に、子どもたちの豊かな心を育み、全ての学習の基礎となる「本」との出会いを、町全体で支えるための「ラーニングコモンズ」をつくる。
- ・学校図書館内のレイアウトを変更し、廊下や図書館前の未利用なオープンスペースなど人が行き交う共用スペースを活用することで、子どもたちが本や情報によりよくアクセスできる環境を整え、協働的・創造的な活動を促進するための読書環境の整備・整美を目指した。



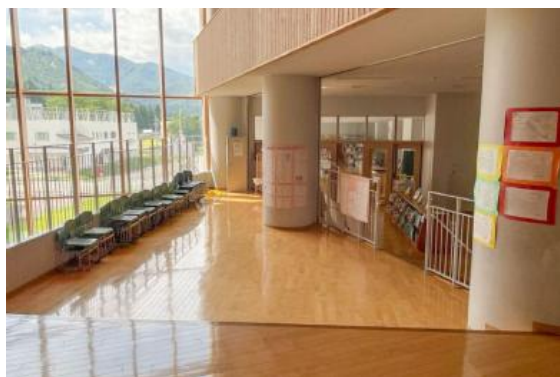
子どもたちがイベントに参加している様子



地域から集めた寄贈本の本棚



Before/After 中学生の廊下にあるオープンスペース（「ユビキタススペース」）につくられた「どこでも本棚」



Before/After 学校図書館前の閲覧ラウンジにつくられた「いつでも自由研究」スペース



資料5 他自治体の参考例

柏市・西原小学校

事例7 温かく子どもを迎える木質の図書館

事例のポイント

- ・多様な学習内容と学習形態に対応できる。
- ・家具にも木材が活用されている。
- ・室内中央にはベンチと一体化した書架が設置されているなど、子どもたちがより身近に本に親しめるよう工夫されている。



図書室



図書室入口



カウンター前



ベンチ



ベンチと一体化した書架



調べ学習のエリア

資料5 他自治体の参考例

瀬戸市・にじの丘学園

事例8 子どもたち・小中の教員・地域が交流し協働する共創空間の実現

事例のポイント

- ・ 9年間の系統性・連続性のある教育活動を効果的に実施できる学習空間。
- ・ 学びを支える地域と連携できる施設環境を確保しており、多様な学習内容と学習形態に対応できる。
- ・ 交流ゾーンには、瀬戸物の登り窯を模した大階段「登り窯ステップ」を計画。日常動線でありながら、高低差を活かし子どもたちの居場所となり、自然に交流が生まれる空間となっている。
- ・ 学校の中心にライブラリーと多目的スペースを配置し、地域や子どもたちの交流が自然に生まれる場所を計画。
- ・ 休日は、地域図書館「にじの丘ライブラリー」として一般に開放しており、地域の人々もここに集まってくる。



大階段



多様な学習形態に対応できるワークスペース



図書を中心とした交流の場「登り窯ステップ」



日常的に交流する児童生徒の様子



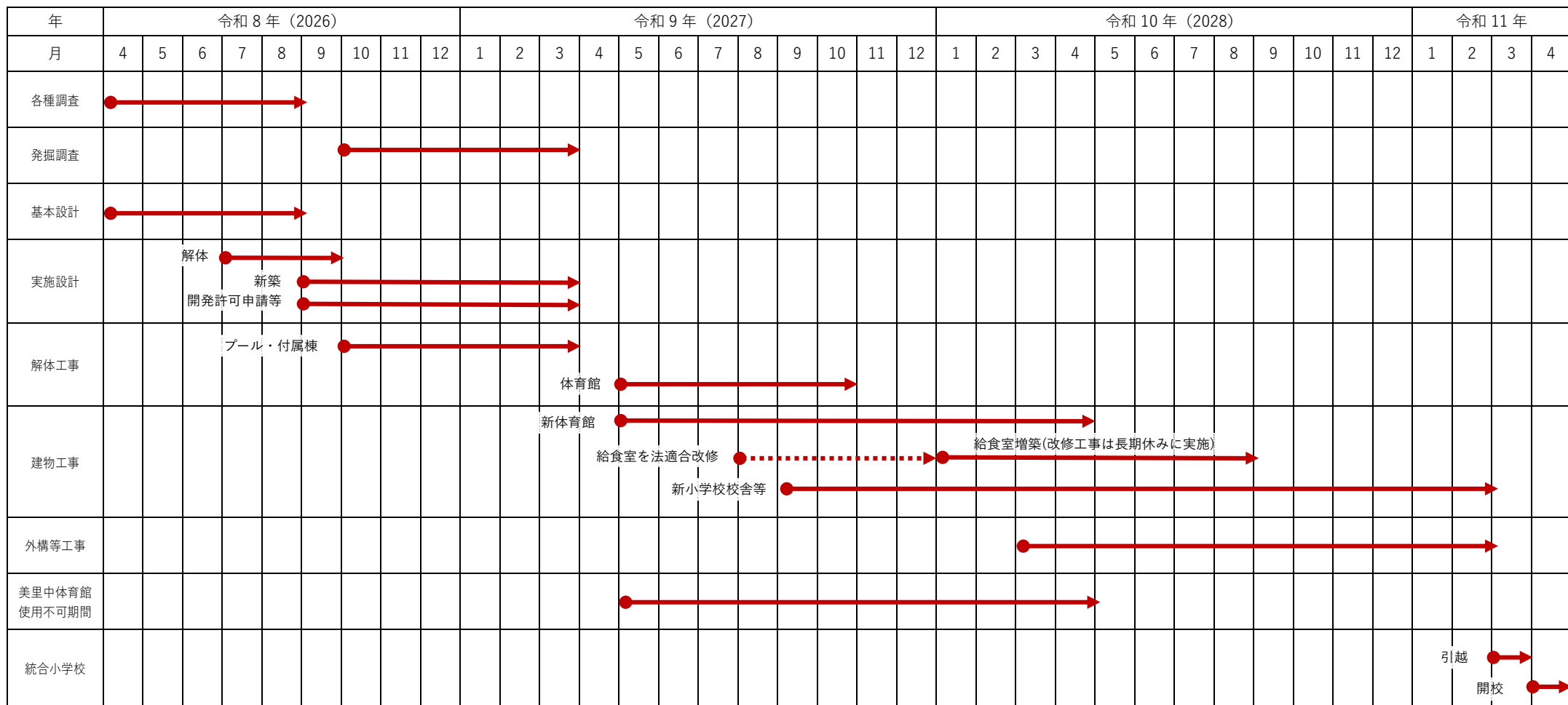
学校の中心のライブラリー



ライブラリー

資料 6

今後のスケジュール



※本スケジュールは令和8年6月現在の予定であり、今後の協議や進捗により変更となる場合があります。